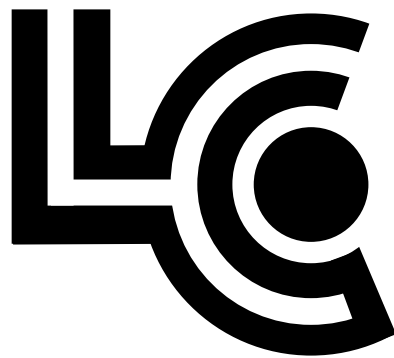


令和7年度
(2025年度)

要 覧



横 須 賀 市 教 育 研 究 所

目 次

令和7年度 教育研究所の運営の基本方針・重点・	1
1 令和7年度 教育研究所運営に関する懇話会構成員	1
2 人的構成	1
3 施 設	1
4 予 算	1
5 組 織 ・ 事 業	2
（1）研修・調査研究担当	3
（2）人権教育担当	13
（3）管理運営係	14
（4）教育情報担当 ICT 活用推進担当	15
（5）教育情報担当 ICT 環境整備担当	17
6 沿 革	18
7 業務分担	20

※ 表紙のマークは、横須賀市を表わす**Y**と教育（education）の**E**、そして、センターとしての**●**で構成されている横須賀市教育研究所のシンボルマークです。

令和7年度 教育研究所の運営の基本方針・重点

本市の学校教育活動全体の質的向上を目指し、教職員の育成と調査研究を行い、多様な教育課題に対応する学校への総合的支援を行う。

- 研修体系に沿った、教職員の資質能力向上と人材育成
- 調査研究成果の発信、カリキュラムセンター機能の更なる充実
- 人権教育の推進
- 教育の情報化推進
- 環境整備及び適正な事務執行
- 教育指導課等他課との連携を深めた運営

1 令和7年度 教育研究所運営に関する懇話会構成員

小学校校長会長	山崎 亨
中学校長会長	三宅 豊
横須賀総合高等学校長	米持 正伸
小学校教育研究会長	浦嶋 愛
中学校教育研究会長	新田 将之
教育委員会事務局（教育指導課長）	鈴木 史洋

2 人的構成

所 長	1名
係 長	1名
主 査 指 導 主 事	2名
指 導 主 事	4名
主 任	2名
会計年度任用職員	7名
長 期 研 究 員	1名

【教育情報担当】

担 当 課 長	1名
主 査	1名
指 導 主 事	3名
主 任	3名
会計年度任用職員	4名

3 施 設

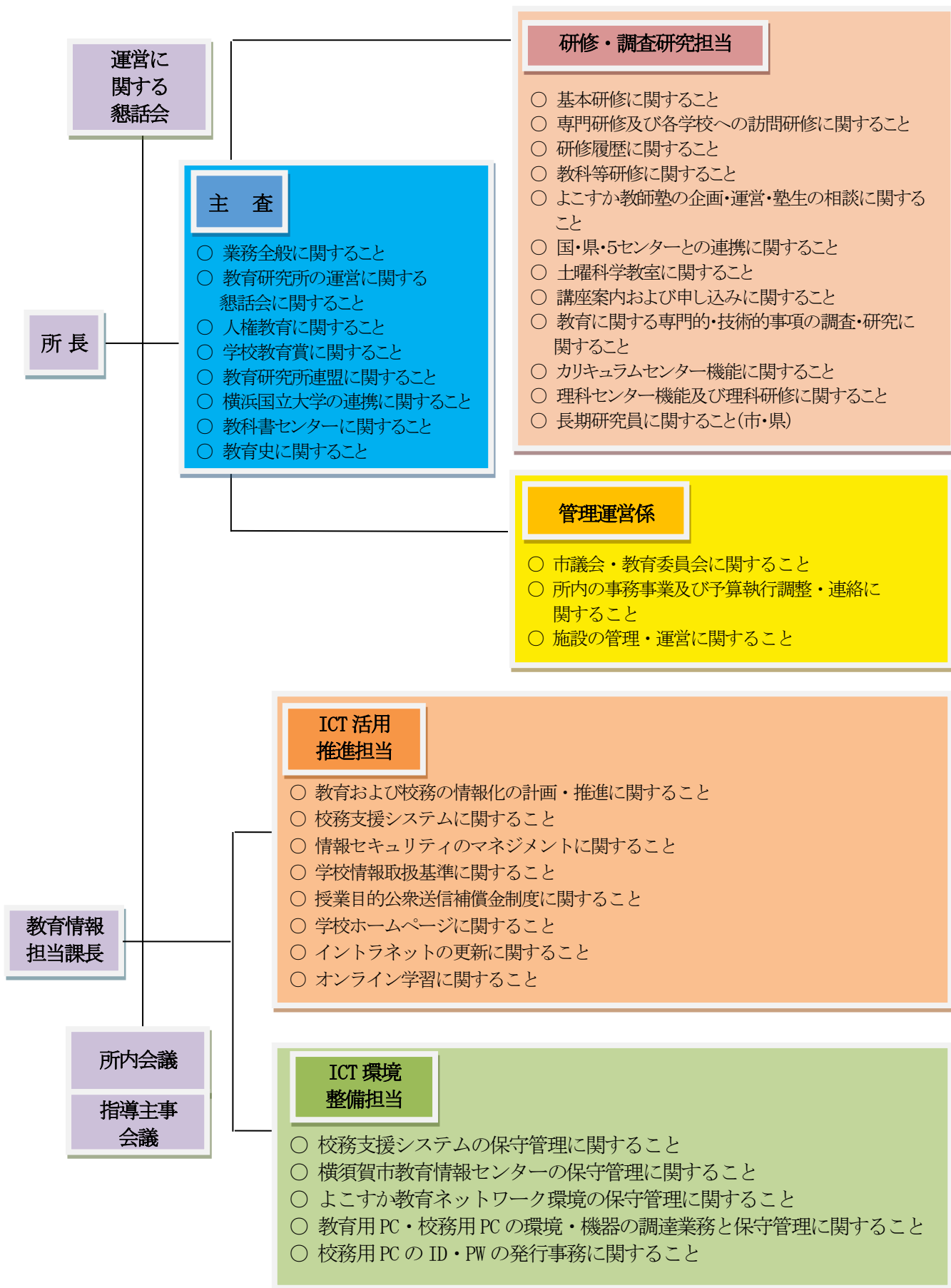
敷地	10,137 m ² （南図書館・南体育館含む）
建物	3,527 m ² （南図書館含む・1,797 m ² は専有）
2階	所長室／研修・調査研究室／事務室（管理運営係）／教育情報担当／会議室／印刷室／準備室／講師控室／長研研修室
3階	第一研修室／第二研修室／図書室／図書資料室／理科担当事務室／理科実験室 理科準備室／情報教育研修室／YKネット事務局室

4 予 算（年度当初予算 人件費を除く事業費 単位：千円）

令和2年度： 644,336	令和3年度： 811,260	令和4年度： 1,094,119
令和5年度： 1,208,027	令和6年度： 1,163,514	令和7年度： 948,458

※令和2年度は、教育政策課教育情報システム室分を含む

5 組織・事業



(1) 研修・調査研究担当

【目標と方針】

1 教師として求められる資質・能力、指導力の向上を図る

- (1) 基本研修において、経験年数に応じた資質・能力及び指導力の向上を図る
- (2) 選択研修において、学力の向上に向けた教師の授業力向上、教育課題、学校づくりなど系統的な研修講座を提供する

2 学校組織の活性化と人材育成を図る

- (1) 各学校において組織的、計画的な学校運営や人材育成が行われるよう、基本研修においてOJTを推進するとともに、職に応じた研修において学校運営や人材育成に係る実践的な研修内容を充実させる
- (2) 各学校において協働性を生かした校内研修・研究が推進されるよう積極的な訪問支援研修を行う

3 理科研修や資料提供を通し、教師の授業力向上及び学習環境づくりに寄与し、理科教育の充実を図る

4 教育に関する専門的及び技術的事項の調査・研究を推進し、その成果を還元する

5 市内外の教育に関する研究や資料、研修図書等を収集し、発信する

【具体的な活動】

1 教師として求められる資質・能力、指導力の向上

喫緊の教育課題に応じた研修、コミュニケーション能力の向上、指導力向上を図る研修などを実施する

- (1) 基本研修

◇初任者研修講座

目 的	教育公務員特例法第23条の規定に基づき、教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら、学習指導や学級経営に必要な基礎的・基本的知識や技能を習得する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	開講式・教育公務員としての心構えと 服務・学校環境整備	学 校 教 育 部 教 職 員 課	部 長 指 導 主 事		4月15日(火)
2	認め合い高め合う集団づくりの基本・ 指導と評価の基本的な考え方	教 育 指 導 課 教 育 研 究 所	指 導 主 事		5月20日(火)
3①	水泳指導法 (小学校教諭/中・高保健体育科教諭)	保 健 体 育 課 市 内 小 ・ 中 学 校	指 導 主 事 学校体育指導員		6月3日(火)
3②	部活動指導 (中学校教諭)	保 健 体 育 課	指 導 主 事		6月10日(火)
4	ICTを活用した授業づくり	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月8日(火)
5	情報セキュリティ 社会人としてのマナー・コミュニケー ションスキル	教 育 研 究 所 ハ ー モ ニ ア	指 導 主 事 代 表	中村 真理	7月23日(水)
6	資質・能力を育成する授業づくり 模擬授業意見交換	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月23日(水)
7①	理科室の管理と実験① (小学校教諭/中・高理科教諭)	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月31日(木)

7②	理科室の管理と実験② (小学校教諭/中・高理科教諭)	教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月31日(木)
8	子ども主体の授業づくり1	横 浜 国 立 大 学	准 教 授	藤原 寿幸	8月18日(月)
9	資質・能力を育成する授業づくり2 模擬授業①	教 育 研 究 所	指 導 主 事		8月18日(月)
10	資質・能力を育成する授業づくり3 模擬授業②	教 育 研 究 所	指 導 主 事		8月19日(火)
11	資質・能力を育成する授業づくり4 研究授業の行い方	教 育 委 研 究 所	指 導 主 事		8月19日(火)
12	学校事故対応 横須賀市の支援教育	保 健 体 育 課 支 援 教 育 課	指 導 主 事		9月2日(火)
13	横須賀を知る	横須賀開国史研究会	会 長	山本 詔一	10月21日(火)
14	グループ授業研究	教 育 研 究 所	指 導 主 事		11月4日(火)
					11月11日(火)
					11月18日(火)
					11月25日(火)
15	人権教育 子どもと向き合う環境づくり	教 育 研 究 所 教 育 政 策 課	指 導 主 事		12月16日(火)
16	学校教育と学校における食育	学 校 食 育 課	指 導 主 事		1月13日(火)
17	学び続ける教師として ～実践報告会・閉講式～	教 育 研 究 所	指 導 主 事		2月17日(火)

※特別支援学校・高等学校教諭は神奈川県立総合教育センター研修を一部受講

◇教職1年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら個々の適性を伸長し、授業づくりに関する力量の向上を図る。
-----	----------------------------------------------------

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	研修概要と年間の見通し	教 育 研 究 所	指導主事		4月22日(火)
2	教職員の服務	教 職 員 課	指導主事	(動画視聴)	5月12日～6月14日
3	児童生徒理解をもとにした授業づくり	北 里 大 学	准 教 授	田 中 保 樹	5月23日(金)
4	国立特別支援教育総合研究所施設訪問	国立特別支援教育総合研究所	所 員		7月28日(月)
5	1人1台端末の活用・ インターネットによる人権侵害	教 育 研 究 所	指導主事		9月10日(水)
6	タイムマネジメント・ 1年間の実践交流と振り返り	教 育 研 究 所	指導主事		1月16日(金)
7	教科等指導員・学校体育指導員授業参観				

※上記以外に校内研修8回

◇教職2年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら個々の適性を伸長し、授業づくりや授業改善に関する力量の向上を図る。
-----	---------------------------------------------------------

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	研修概要と年間の見通し	教 育 研 究 所	指 導 主 事	4月23日(水)
2	教職員の服務	教 職 員 課	指 導 主 事	(動画視聴) 5月12日～30日
3	インクルーシブ教育・ 主体的・対話的で深い学び	支 援 教 育 課 教 育 研 究 所	指 導 主 事	6月6日(金)

4	メンタルヘルス・ いじめ問題の理解と対応	サnteコンサル横浜 支 援 教 育 課	公認心理師 指 導 主 事	大多和 二郎	7月22日(火)
5	1人1台端末の活用・ 1年間の実践の交流と振り返り	教 育 研 究 所	指 導 主 事		1月27日(火)
6	他校研究発表会参加				

※上記以外に校内研修8回

◇教職5年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び社会人としての自覚を高めながら個々の適性を伸長し、学習意欲を高める授業づくりや同僚教職員との授業研究に関する力量の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	タイムマネジメント・ 研修概要と年間の見通し	教 育 研 究 所	指 導 主 事		5月2日(金)
2	教職員の服務	教 職 員 課	指 導 主 事	(動画視聴)	5月12日～30日
3	1人1台端末の活用・ インクルーシブ教育の取組	教 育 研 究 所 支 援 教 育 課	指 導 主 事		6月20日(金)
4	「カリキュラム・マネジメント」を意識 した授業づくり	慶応義塾大学 教職課程センター	教 授	藤本 和久	7月22日(火)
5	性の多様性について 1年間の実践の交流と振り返り	ダイバーソン 教 育 研 究 所	代 表 指 導 主 事	飯田 あきる	1月20日(火)
6	教科等指導員・学校体育指導員授業参観				

※上記以外に校内研修8回

◇中堅教諭等資質向上研修講座

目 的	教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の適性を伸長し、指導力の向上を図るとともに、学年および学校運営における企画調整力を身に付ける。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	中堅教諭等として	教 育 研 究 所	所 長 指 導 主 事		4月25日(金)
2	メンタルヘルス 教職員の服務	大草心理臨床 教 職 員 課	大草 正信 指 導 主 事	(動画視聴)	5月12日～30日
3	インクルーシブな学校づくり・ 生命の安全教育	支 援 教 育 課 教 育 研 究 所	指 導 主 事		7月9日(水)
4	コーチングを生かした人材育成	人材育成サポートオフィス アクティブK	人材育成コン サルタント	廣山 容子	7月25日(金)
5	「主体的・対話的で深い学び」につな がる授業づくりと授業研究の推進	大妻女子大学	教 授	澤井 陽介	7月25日(金)
6	GIGA スクール構想と ICT を活用した 授業づくり ファシリテーションを意識した研究協議	教 育 研 究 所	指 導 主 事		10月15日(水)
7	研究協議の推進 (初任者グループ授業研究参加)				11月
8	1年間の実践の交流と振り返り	教 育 研 究 所	指 導 主 事		1月30日(金)
9	年間テーマに対する夏季研修等選択研修				
10	フロンティア研究またはチャレンジ研 究発表会参加				

※上記以外に校内研修8回

◇教職 20 年経験者研修講座

目 的	教育公務員及び校内での中核的教員としての自覚を高めながら、個々の適性を伸長し、学校づくりや教育活動においてリーダーシップを発揮できるよう、事故の探求的な学びを教師自らがデザインする。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	発展期に求められる教職員像について 教職員の服務	教 育 研 究 所 教 職 員 課	指導主事	(動画視聴)	5 月 12 日～30 日
2	夏季研修講座受講	自己研鑽のテーマに沿って夏季研修を受講 ※総括教諭は第3回を「総括教諭研修講座」にあてる			
3	夏季研修講座受講				

※ 上記以外に校内研修 2 回

◇経験年数に応じた養護教諭研修

新採用、1 年・2 年・5 年・20 年経験者及び中堅養護教諭（教職 9 年から 11 年経験者）を対象に実施している本研修は、神奈川県立総合教育センターとの協定に基づき、県が実施する研修も選択しながら実施する形となっている。

それぞれの研修回数の中には、校内研修の実施及び研究協議等を行う内容を含み、校内における OJT の促進も図れる研修を構築している。

◇経験年数に応じた栄養教諭研修

新任者、2 年・4 年・20 年経験者及び中堅栄養教諭（教職 8 年から 10 年経験者）を対象に実施している本研修は、栄養教諭の職務及び専門的知識等について理解を深めるとともに、食に関する指導に係る実践的指導力を身に付け、資質の向上を図るため、校内研修と神奈川県立総合教育センター等が実施する校外研修を位置付けている。

(2) 選択研修

◇スキルアップ研修講座

目 的	授業づくり、集団づくりの基本的な知識及び技能を実践的に学び、教員としての資質や指導力の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	児童生徒が生き生きと表現する図画工作・美術科の授業づくり	女子美術大学・横浜国立大学・横浜国立大学附属鎌倉高等学校	講 師	高野 芳幸	5 月 31 日 (土)
2	対話から「美しい」を生み出す、探究的な学びのある算数・数学の授業づくり	横 浜 国 立 大 学 附 属 鎌 倉 中 学 校	教 諭	湯川 拓実	7 月 28 日 (月)
3	子どもと教師がつくる道徳の授業 ～「なるほど！」がある授業をめざして～	横 浜 国 立 大 学 附 属 鎌 倉 小 学 校	教 諭	根本 哲弥	7 月 30 日 (水)

◇授業づくりワークショップ研修

目 的	実践的な授業づくりについて学び、教員としての資質や指導力の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	主体的・対話的で深い学びの授業実践に向けて（教職 1 年経験者対象）	教 育 研 究 所	指 導 主 事		5 月 23 日 (金)
2	主体的・対話的で深い学びの授業実践に向けて（教職 2 年経験者対象）	教 育 研 究 所	指 導 主 事		6 月 6 日 (金)
3	主体的・対話的で深い学びの授業実践に向けて（教職 5 年経験者対象）	教 育 研 究 所	指 導 主 事		6 月 20 日 (金)

◇教育課題研修講座

目 的	今日的な教育課題について学び、教員としての資質や指導力の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	教育データの利活用について	国立教育政策研究所 初等中等教育研究部	副 部 長 ・ 総括研究官	白 水 始	7月25日(金)
2	目の前にいるLGBTQ+の子どもたちのために先生ができること	N P O 法 人 Proud Futures	共同代表	小野 アンリ	7月29日(火)
3	指導と評価の一体化	東京学芸大学 教 職 大 学 院	教 授	伊 東 哲	7月30日(水)

◇コミュニケーション研修講座

目 的	教師として必要なコミュニケーションスキルについて理解を深め、学校における実践方法を身に付け、指導力向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	問題解決のためのコミュニケーション技術	東京工芸大学	芸術学部長	大 島 武	7月30日(水)
2	保護者とのよりよい関係づくり	学校リスクマネジメント 推進機構	代 表	宮下 賢路	8月21日(木)

◇夏季大学

目 的	各界からの著名な講師から、様々な分野の専門的な知識等を学び、教職員の教養を高める。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	夢を叶える時間術	TIME COORDINATE 株式会社	タイムコーディネーター	吉武 麻子	7月29日(火)
2	スマイルカットの実践	そらいろプロジェクト 京都	美 容 師	赤松 隆滋	8月5日(火)
3	ひとりで書くけど、チームプレイ	ス タ ー ダ ス ト プ ロ モ ー シ ョ ン	脚 本 家	森野 マッシュ	8月6日(水)

◇学校づくり研修講座

目 的	学校組織力の向上のために必要なことについて理解を深める。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	これからの学校教育と著作権	横浜国立大学	教 授	山 本 光	7月29日(火)
2	「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の姿』を実現するために	千 葉 大 学	副 学 長	貞広 斎子	7月30日(水)
3	信頼関係を築き、コーチングで人を育てる (承認編)	シーズグロース コ ー チ ン グ	代 表 理 事	橋口 奈生	8月6日(水)

2 学校組織の活性化と人材育成

職に応じた研修や、訪問支援研修を実施する。

◇校長研修講座

目 的	学校経営及び今日的な教育課題についての理解を深め、円滑な学校経営に必要な資質の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	リーダー論 ～ミッション： 私たちは何のために働いているのか～	リーダーシップ コンサルティング	代 表	岩 田 松雄	7月7日(月)
2	改めて横須賀の教育を見つめ直す	日本女子体育大学	教 授	前 島 光	11月20日(木)

※第1回は校長会連携研修講座として、小・中・特別支援学校長のみ受講

◇副校長・教頭研修講座

目 的	学校経営及び今日的な教育課題についての理解を深め、円滑な学校経営に必要な資質の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	不祥事防止について	神奈川県教育局 教 職 員 人 事 課	専 任 主 幹	相 原 充	5月16日(金)
2	改めて横須賀の教育を見つめ直す	日本女子体育大学	教 授	前 島 光	11月20日(木)

◇新任校長研修講座

神奈川県の新任校長研修講座と横須賀市の校長研修講座を受講する。

◇新任副校長研修講座

神奈川県の新任副校長研修講座と横須賀市の副校長・教頭研修講座を受講する。

◇新任教頭研修講座

目 的	自校の学校経営を円滑に推進するために必要な資質の向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	教頭職における役割と実務	教 育 研 究 所 保 健 体 育 課	指 導 主 事		4月25日(金)

※上記以外に、神奈川県の新任教頭研修講座と横須賀市副校長・教頭研修講座、保健予防課主催研修を受講する。

◇総括教諭研修講座

目 的	今日的な教育課題について学び、組織的な学校運営推進担当者としての資質向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	働き方を見つめ直す理由と方法 ～教職員一人ひとりがリーダーシップ を発揮して、業務改善を進めるには～	ライフ＆ワーク	代 表 理 事	妹尾 昌俊	8月25日(月)

◇新任総括教諭研修講座

目 的	組織的な学校運営推進担当者としての資質向上を図る。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	新任総括教諭としての役割	学 校 教 育 部 教 育 研 究 所	学校教育部長 指 導 主 事		7月2日(水)
2	働き方を見つめ直す理由と方法 ～教職員一人ひとりがリーダーシップを 発揮して、業務改善を進めるには～	ライフ&ワーク	代 表 理 事	妹尾 昌俊	8月25日(月)
3	総括教諭としての展望	教 育 研 究 所	指 導 主 事		1月23日(金)

※上記以外に、神奈川県の新任総括教諭研修講座を受講する。

◇学校運営研修講座

目 的	学校運営を円滑に推進していく力量を高める。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	学校運営における役割	教 育 研 究 所	指 導 主 事		5月9日(金)
2	教育課程編成・組織マネジメント 人材育成	教 育 指 導 課 教 育 研 究 所	指 導 主 事		6月4日(水)
3	働き方を見つめ直す理由と方法 ～教職員一人ひとりがリーダーシップを 発揮して、業務改善を進めるには～	ライフ&ワーク	代 表 理 事	妹尾 昌俊	8月25日(月)
4	学校運営に求められるコンプライアンス	教 職 員 課	指 導 主 事		11月12日(水)
5	自校を見つめる	教 育 研 究 所	指 導 主 事		12月10日(水)

◇初任者研修拠点校指導教員研修講座

目 的	初任者を育成するための拠点校指導教員の職務について理解を深め、専門的な知識や指導技術を習得する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	拠点校指導教員の役割	教 育 研 究 所	指 導 主 事		4月4日(金)
2	初任者との関係づくりと 初任者の対人関係に対する指導	東京学芸大学	准 教 授	末松 裕基	5月13日(火)
3	初任者に寄り添う指導の在り方と 今後の対応	教 育 研 究 所	指 導 主 事		9月30日(火)
4	初任者グループ授業参観・協議会参加	教 育 研 究 所	指 導 主 事		11月

◇初任者研修校内指導教員研修講座

目 的	初任者を育成するための校内指導教員の職務について理解を深め、専門的な知識や指導技術を習得する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	校内指導教員の役割	教 育 研 究 所	指 導 主 事	(動画視聴)	4月1日～
2	初任者との関係づくりと 初任者の対人関係に対する指導	東京学芸大学	准 教 授	末松 裕基	5月13日(火)
3	初任者に寄り添う指導の在り方と 今後の対応	教 育 研 究 所	指 導 主 事		9月30日(火)

◇臨時的任用職員等研修講座

目 的	学習指導、児童・生徒指導、学級経営等について学び、臨時的任用職員等の指導力を育成する。				
回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	学級経営・子どもとの関係づくり	教 育 研 究 所	指 導 主 事		5月9日(金)
2①	指導と評価の基本的な考え方	教 育 指 導 課	指 導 主 事		5月20日(火)
2②	特別支援学級における学級経営 授業づくり	特定非営利活動法人 サポートフレンズこころ	管理・指導者	荒 川 正 敏	5月21日(水)
3	ユニバーサルデザインの授業づくり	国立特別支援教育 総合研究所	研 究 員	平 沼 源 志	8月26日(火)
4	服務全般	教 職 員 課	指 導 主 事		9月17日(水)
5	児童生徒理解	支 援 教 育 課	指 導 主 事		12月10日(水)

◇教職員支援研修・訪問支援研修

教育研究所指導主事が学校へ訪問して研修を実施する。

サポート研修	学校からの要請に応じて、教員の授業づくりや学級経営の支援などを目的に、教育研究所指導主事がサポートを行う。
校内研修 ファシリテーション	学校からの要請に応じて、校内研修の活性化を図ることなどを目的に、教育研究所の指導主事が訪問し、学校支援を行う。

3 理科の学習環境の充実

(1) 理科教育研修講座（教員対象の理科関係研修講座 年間13回）の実施

◇理科基礎技術研修講座

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	生物の飼育と授業づくり～昆虫～	自然・人文博物館	学 芸 員		5月21日(水)
2	生物の飼育と授業づくり ～メダカ～	教 育 研 究 所	指 導 主 事 非常勤職員		6月4日(水)
3	理科室の安全な管理の仕方と 安全な実験方法	教 育 研 究 所	指 導 主 事 非常勤職員		7月31日(木)
4	理科室の安全な管理の仕方と 安全な実験方法	教 育 研 究 所	指 導 主 事 非常勤職員		7月31日(木)
5	自然観察会～相模湾の生き物～	自然・人文博物館	学 芸 員		8月21日(木)
6	自然観察会～学校周辺で見られる植物～	自然・人文博物館	学 芸 員		8月26日(火)

◇小学校・中学校理科教材研究講座

回	講 座 内 容	所 属	講 師		日 程
1	上手に活用！実験機器① ～実験機器の使い方&活用法～	株式会社ナリカ	ス タ ッ プ		7月24日(木)
2	上手に活用！実験機器② ～実験機器の使い方&活用法～	株式会社ケニス	ス タ ッ プ		7月29日(火)

◇科学教養講座

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	日本近海における海底資源調査の現状とその利活用に迫る	J A M S T E C	海 底 資 源 センター長 鈴木 勝彦	7月28日(月)
2	beyond5G による通信技術の現状や今後の研究開発について	NICT 情報通信 研究機構	イニシアテ ィブ長 石津 健太郎	8月25日(月)

◇パワーアップ研修講座（理科シリーズ）

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1・2	指導技術向上研修(サイエンスサマー)	市 内 小 学 校	教 諭 C S T 等	7月22日(火)
3	指導技術向上研修	市 内 小 学 校	教 諭 C S T 等	未 定

CST・・・コア・サイエンス・ティーチャー

横浜国立大学が実施する指導力に優れた理科教員を養成するプログラムを受講し認定された教員

(2) 児童生徒の学習意欲を向上させる観察・実験のための理科室整備

①実験観察教材・情報の提供

- ・生物教材（微小生物、メダカ等）の維持管理、提供を行う
- ・生物教材（種ジャガイモ、サツマイモ苗、カイコ、キャベツ苗等）の斡旋、提供を行う
- ・実験教材の研究開発、情報提供、理科教材（常設）の展示を行う
- ・理科実験室、理科機器の貸し出しを行う
- ・実験観察に関する情報提供・協力を行う

②教育情報センターホームページ内の理科関係データ更新・追加

- ・イントラネット 「理科なび」
- ・インターネット 「三浦半島の植物」「三浦半島の地層・地質」「三浦半島の野鳥」

③「薬品管理マニュアル」（令和2年3月改訂）の周知と活用を進める

④学校が保管する薬品の管理状況の調査及び指導・助言

- ・学校の薬品保管状況の視察・及び指導・助言の実施
- ・「学校が保管する薬品の管理状況の点検および報告」の実施

(3) 教員の指導力および児童生徒の学力向上を図る事業の実施

①サイエンスサマーの実施

②土曜科学教室の実施

4 市内及び他機関との連携による研究及び資料収集

(1) 長期研究員による研究

(2) 教育研究所連盟

①全国教育研究所連盟、関東地区教育研究所連盟の諸機関との連携による情報収集、調査研究

②神奈川県教育研究所連盟の諸機関との連携

- ・神奈川県立総合教育センター及び政令市、中核市の教育研究所で構成する5センターで連携し、教育課題に関する情報交換を行う

(3) 横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターとの連携

(4) 横浜国立大学教職大学院との連携

5 教育に関する資料・情報の収集・発信

(1) 授業づくりのために役立つ指導案や教材教具などの収集・発信

・カリキュラムセンター機能の充実を図る

(2) 教育研究所図書資料室の機能の充実

①研修図書の購入

②図書資料の提供と貸し出し、閲覧の充実

- ・教科等のコーナー毎の図書資料を充実させる
- ・新刊本等の紹介をする
- ・教育関係雑誌・新聞の購入をする
- ・教材用ビデオ・DVD のライブラリーを設置する
- ・市立学校の学校要覧・研究紀要等の資料を収集する
- ・研究会の紀要を配架する
- ・他県他市の資料を収集、配架する

③その他の資料

・教具的民俗資料 ・教育用教科書【江戸、明治、大正、昭和戦前期】

④教科書センター

- ・教科書見本（小・中・高等学校用教科書及び学校教育法附則第9条に基づく図書）を置く
- ・教科書目録、学習指導要領及び学習指導要領解説を置く
- ・教科書採択に係る教科書展示会を行う
- ・昭和100年／戦後80年記念行事として、昭和の教科書展示会を行う

⑤レファレンスサービス（図書資料・情報に関する問い合わせへのサービス）

⑥資料提供（令和7年度刊行予定の定期刊行物）

- ・「教育研究所要覧 令和7年度版」
- ・「教育研究所所報 86号」

⑦教育史編纂

・横須賀の戦後の「教育史」の刊行

(3) 教育情報センターの充実（教育情報の蓄積、共有化）

①イントラネット（学校限定）での情報発信

②インターネットでの情報発信

(2) 人権教育担当

【目標と方針】

1 教職員の人権意識の向上を図り、人権教育を推進する。

- (1) すべての学校すべての地域において、人権尊重の精神の涵養を目的に、組織的、計画的に推進されるよう、推進体制の整備・充実を図り、積極的な推進に努める
- (2) 学校教育においては、児童生徒の発達段階に即しながら、各教科等の特質に応じ、学校の教育活動全体を通じて、人権尊重の理念について理解を促すように努める
- (3) 指導者の養成及び研修については、計画的に実施し、資質の向上に努めるとともに、その活用を図る
- (4) 推進に当たっては、学校や地域の実情等に応じ、人権に関する現状を正しく把握して取り組むとともに、教育の中立性の確保に努める

【具体的な活動】

1 研修の実施

(1) 人権教育担当者研修

目 的	人権意識の涵養と人権教育への理解を深める。
-----	-----------------------

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	人権教育の基本理念	教 育 研 究 所	指 導 主 事	5月21日(水)
2	差別のない社会の実現へ ～私たち大人がすべきこと～	川崎市ふれあい館	館 長 崔 江以子	7月24日(木)
3	人権運動団体研究大会及び講演会の参加	—	—	—

(2) 人権教育指導者養成研修

市内15校を対象とし、年間3回、2年計画で、全6回の研修を行う。

目 的	人権教育を積極的に推進する教員の育成を図る。
-----	------------------------

〈令和7年度〉

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
4	研究授業及び協議	所 属 校	—	—
5	代表授業参観及び協議	代 表 校	—	—
6	人権教育指導者として	教 育 研 究 所	指 導 主 事	2月4日(水)

(3) 人権・ダイバーシティ推進課連携研修

目 的	同和問題について理解を深め、人権尊重の意識の高揚を図る。
-----	------------------------------

回	講 座 内 容	所 属	講 師	日 程
1	被差別部落の生活と文化 ～部落問題を考える～	部 落 解 放 同 盟 神奈川県連合会	副執行委員長 三川 哲伸	8月20日(水)

(4) 人権教育訪問研修

学校からの要請に応じて指導主事が訪問し、人権教育の研修を行う。

2 人権移動教室（国際人権センター主催）の実施

3 神奈川県教育委員会主催人権教育研修への参加

4 人権関係諸団体との連携

(3) 管理運営係

【目標と方針】

1 教育研究所業務の円滑な事務事業・連絡に努める

- (1) 適正で確実な予算執行に努める
- (2) 所内各担当及び関係各課との円滑な連絡調整に努め、的確な情報収集・伝達・作業依頼及び集約等を行う
- (3) 法令遵守及び的確な事務処理方法について率先して取り組み、効率的に業務を進める

2 施設の円滑な管理・運営に努める

- (1) 所内外の環境整備に努め、安心・安全な施設管理を行う

【具体的な活動】

1 所内の円滑な事務事業及び予算執行調整・連絡

- (1) 教育研究所全体の予算執行の的確な管理を行う
- (2) 教育委員会定例会及び市議会に関する情報収集・伝達・作業依頼及び集約等を行う
- (3) 関係各課との円滑な連絡調整を図り、各種報告、連絡、書類作成及び発信事務の遅滞なき履行を図る
- (4) 事務及び財務等に関する規程を周知し、業務全般のコンプライアンスについて徹底を図り、効率的な事務処理を率先して行う

2 施設の円滑な管理・運営

- (1) 所内外全般の環境整備及び美観維持に努める
- (2) 施設の老朽化に対応し、工事と修繕を迅速・的確に進め、快適な研究環境を提供する
- (3) 研修用備品等の更新を行う。また、棚卸を行い不要な物品を適正に処分する

(4) 教育情報担当 ICT 活用推進担当

【目標と方針】

1 学校における「教育の情報化」を推進する

- (1) 1人1台端末の活用を推進する
- (2) 校務処理場面における「教育の情報化」につながる研修を充実する

【具体的な活動】

1 学校における「教育の情報化」の推進に係る各種研修

- (1) 1人1台端末の活用の推進に係る研修

①ICT 活用実践研修講座（選択研修）

- ・対象 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員
- ・目的 情報教育上、必要な基礎的知識及び技能に関する具体的内容を取り上げ、指導力の向上とともに教育の情報化の推進を図る

回	講座名	講座内容	日 時		会 場
1	ICT 活用実践研修講座①	情報モラルについて考える	8月25日（月）	9:30～12:00	教育研究所 第1研修室
2	ICT 活用実践研修講座②	ミライシード活用研修 【初級編】	7月24日（木）	9:30～12:00	オンライン
3	ICT 活用実践研修講座③	ミライシード活用研修 【初級編】		13:00～16:00	オンライン
4	ICT 活用実践研修講座④	Google アプリ活用研修 【超初心者向け研修】	8月22日（金）	9:30～12:00	オンライン
5	ICT 活用実践研修講座⑤	Google アプリ活用研修 【超初心者向け研修】		13:30～16:00	オンライン

②パワーアップ研修講座（選択研修）

- ・対象 小学校、中学校、特別支援学校の教職員
- ・目的 学習支援ソフトを効果的に活用する方法を学ぶ

回	講座名	講座内容	日 時		会 場
1	パワーアップ研修講座 ミライシード	横須賀市で導入している学習支援ソフト（ミライシード）のオクリンクプラスの活用の仕方に関する研修	5月13日（火）	15:45～16:45	オンライン での開催
2		横須賀市で導入している学習支援ソフト（ミライシード）のオクリンクプラスの活用の仕方に関する研修	6月17日（火）		
3		横須賀市で導入している学習支援ソフト（ミライシード）のオクリンクプラスの活用の仕方に関する研修	7月1日（火）		
4		横須賀市で導入している学習支援ソフト（ミライシード）のドリルパークの管理機能に関する研修	9月9日（火）		
5		横須賀市で導入している学習支援ソフト（ミライシード）のオクリンクプラスの活用の仕方に関する研修	10月7日（火）		

(2) 校務処理場面における「教育の情報化」の推進に係る各種研修

①指定研修

- ・対象 小学校・中学校・特別支援学校の新任の教頭
- ・目的 校務支援システムの操作を習得する

回	講座名	講座内容	日	時	会 場
1	校務情報化研修講座①	新任教頭対象研修 新任教頭を対象とした操作研修	4月11日(金)	15:30~16:45	オンライン

②選択研修・・・校務支援システムに関する研修

- ・対象 小学校・中学校・特別支援学校の全職員
- ・目的 校務支援システムの基本操作を習得する

回	講座名	講座内容	日	時	会 場
1	校務情報化研修講座②-1 ②-2 ②-3	評価担当者等対象者研修 通信簿作成関係の操作方法の 研修	7月4日(金) 7月9日(水) 7月11日(金)	16:00~16:45	オンライン
2	校務情報化研修講座③	調査書作成担当者研修	10月24日(金)	※進路事務担 当者会②と 兼ねる	教育研究所 第一研修室
3	校務情報化研修講座④-1 ④-2 ④-3	管理職対象研修 年度末から新年度にかけての 操作方法の研修	2月13日(金) 2月18日(水) 2月20日(金)	10:00~11:00	オンライン
4	校務情報化研修講座⑤-1 ⑤-2 ⑤-3	教務等対象者研修 指導要録作成および卒業処理 関係の操作方法の研修	2月13日(金) 2月18日(水) 2月20日(金)	16:00~16:45	オンライン
5	校務情報化のための ICT 活用研修講座	校務支援システム活用研修 研修希望校と相談して決定 学校ホームページの活用 研修希望校と相談して決定	【訪問研修】 研修希望校と相談して決定		市内各学校

(5) 教育情報担当 ICT 環境整備担当

【目標と方針】

1 学校情報基盤を保守管理し、学校における教育の情報化を推進する

- (1) よこすか教育ネットワーク (YKNet) 環境の整備・保守管理
- (2) 各学校に配備している ICT 機器の整備・保守管理
- (3) 校務用利用者 ID、パスワードの管理
- (4) GIGA スクール構想に関する環境の整備・保守管理

2 横須賀市教育情報センターホームページ等を保守管理し、教育委員会内外への情報発信を推進する

【具体的な活動】

1 学校情報基盤の保守管理

- (1) よこすか教育ネットワーク環境の稼働を維持するため、サーバ類の更改、保守管理を行う
 - ・ネットワーク機器、管理サーバ等の調達業務と保守管理を行う
 - ・ネットワークの増強を行う
- (2) 各学校に配備している ICT 機器関係
 - ・教育用パソコン、校務用パソコン等の調達業務と保守管理を行う
 - ・中学校の電子黒板を保守管理する
 - ・総合高校の CALL システムを更改する
- (3) 校務支援システム関係
 - ・校務支援システム保守事業者と調整し、契約事務を行う
 - ・教職員・児童生徒の情報を登録し、名簿管理を支援する
- (4) GIGA スクール構想関係
 - ・1人1台端末、管理サーバ等の調達業務と保守管理を行う
 - ・ネットワーク機器の更改を行う

2 横須賀市教育情報センターホームページ等の保守管理

- ・横須賀市教育情報センター及び教育委員会ホームページの保守管理を行う
- ・「よこすかスクールネット (市立学校のホームページ集)」の保守管理を行う

6 沿革

昭和	23年 9月 1日	横須賀市立田浦中学校内に創設
	24年 6月 17日	横須賀市坂本町 1-19 に移転
	26年 9月 15日	教育相談室を開設
	26年 10月 2日	神奈川県下教育研究所連絡協議会を担当開催・加盟
	28年 11月 16日	視聴覚教材ライブラリーを開設（58年度中央図書館に移管）
	31年 7月 1日	教科書センターを開設
	36年 4月 1日	理科教育センターを開設（60年度理科教育研究室に改称）
	39年 4月 1日	「横須賀市教育研究所条例」施行
	39年 10月 20日	『研究所月報』創刊号を創刊
	44年 3月	『戦後横須賀教育史』を創刊
	55年 11月 29日	創立 30 周年記念式典 新教育研究所建設構想確定
	59年 4月 1日	学校・学級経営相談を開設 ビデオテープコーナーを整備
	60年 1月 4日	横須賀市久里浜 6-14-3（現在地）に新築移転開所
	60年 4月 1日	電話相談を開設 第一回研究発表会を開催
平成	2年 4月 1日	情報教育研究室を開設
	3年 4月 1日	訪問相談を開設
	6年 3月	『横須賀市教育史』を刊行
	6年 4月 1日	専任所長制となる（4月） 学校・学級経営相談を新設
	7年 4月 1日	『教育研究所月報』を A 判化・マークをカラー化
	8年 10月	情報教育広域連携システム導入
	9年 7月 7日	適応指導教室を開設
	9年 9月 26日	教育情報センター・ホームページを開設、所内 LAN を整備
	10年 12月 4日	第 45 回神奈川県教育研究所連盟研究発表大会を開催
	11年 9月 1日	教育研究所創立 50 周年記念誌を刊行、記念展示会を開催
	11年 9月 22日	学校インターネットの研究開始
	11年 10月 1日	学校インターネットアドバイザー事業開始
	12年 9月 1日	中学校全校がインターネットで接続
	13年 4月 1日	中核市への移行に伴い、教員基本研修事業を実施
	13年 12月 10日	地域イントラネット事業完了
	14年 1月 4日	教育情報デジタル化と教育資料データベース化事業開始
	14年 4月 1日	3 セクション制に移行、教育相談セクションは市総合福祉会館 4 階に移設
	15年 8月	市内各小・中学校パソコン教室に 42 台を設置完了
	15年 9月 2日	エルネット（教育情報衛星通信ネットワーク）設備
	16年 3月 31日	学校インターネット事業終了
	16年 4月 1日	スクールデジタルコンテスト事業開始
	16年 7月 1日	「スペースゆうゆう坂本」開設
	17年 4月 1日	学校インターネットアドバイザー事業(市予算)を実施
	17年 4月 1日	授業力向上支援相談員派遣事業を開始
	18年 4月 1日	学校インターネットアドバイザー事業から IT 学習サポート事業に移行
	20年 4月 1日	教育相談事業がこども育成部 こども青少年支援課に、不登校対策を学校教育課に移管
	20年 4月 1日	調査研究セクション新設
	21年 3月	市内 37 小学校の全普通教室に校内 LAN、PC、プロジェクタ等を整備
	21年 4月 1日	教育情報担当課新設、担当課長就任
	22年 4月 1日	セクション制を廃止、授業力向上支援相談員を指導力向上学級改善支援員と改称

平成	22 年 9 月	市内 10 小学校、24 中学校、2 特別支援学校の全普通教室に校内 LAN、PC、プロジェクタ等を整備
	23 年 3 月	『教育研究所月報』を廃刊
	23 年 4 月 1 日	指導力向上学級改善支援員派遣事業を支援教育課に、学校教育賞、研究会、教育史を総務課教育政策担当に、学校図書館活性化事業、学校図書館業務を教育指導課に移管 校務支援システム運用開始、総務・ICT 基盤整備、校務支援システム運用・推進、研修・研究・教育の情報化推進の 3 班体制開始、よこすか教師塾開校
	24 年 4 月 1 日	係制への移行に伴い、研究・研修担当、ICT 活用推進係、管理運営係を設置 総務課教育政策担当から教育史が移管
	24 年 4 月 1 日	教育研究所 65 周年記念誌の刊行準備、学校教育賞が総務課教育政策担当から移管 学校・学級経営相談は子ども青少年支援課へ移管
	26 年 1 月	65 周年誌発刊、市内 23 校 PC 教室・図書室用 PC の更改
	26 年 3 月 31 日	情報化支援員事業が終了
	26 年 4 月 1 日	ICT 活用推進係を 2 つに分け、研修班、調査研究班、学校情報基盤整備係、管理運営係の 4 部署で運営を始める。
	27 年 4 月 1 日	学校情報基盤整備係が総務課付となり教育情報システム室と改められた。それに伴い、研修班、調査研究班、管理運営係の 3 部署で運営を始める。
	27 年 10 月 13 日	第 62 回神奈川県教育研究所連盟研究発表大会を開催
	28 年 3 月 31 日	6 つの研究会は、2 年間の研究を終了
	28 年 4 月 1 日	研修班、調査研究班、管理運営係の 3 部署で運営を始める。教育情報システム室は、2 年目を迎える。
	28 年 8 月	教育公務員特例法の一部を改正する法律により、基本研修等の研修体系の見直しを図る。
	12 月～1 月	小学校 9 校と中学校及び特別支援学校の普通教室用 PC をタブレット型に変更する。
	29 年 4 月 1 日	研修班、調査研究班の名称を、それぞれ研修担当、調査研究担当に改称 教職 10 年経験者研修を、中堅教諭資質向上研修と改称 総括教諭学校運営基礎研修講座開始
	30 年 3 月 31 日	6 つの研究会は、研究を終了
	30 年 4 月 1 日	総務課教育情報システム室の事務分掌を、教育政策課が所管する。 総括教諭学校運営基礎研修講座を学校運営基礎研修講座と改称
	31 年 3 月 31 日	学力向上研究会は、5 年間の研究を終了
令和	2 年 3 月 31 日	研究会業務の終了
	3 年 3 月 31 日	GIGA スクール構想による児童生徒 1 人 1 台端末及び高速ネットワーク整備
	3 年 4 月 1 日	教育研究所内に教育情報担当を新設し、教育の情報化を推進するための組織改正を行う 教育指導課と教育研究所教育情報担当の併任人事実施 人権教育事業が教育指導課から教育研究所へ移管
	5 年 4 月 1 日	教育公務員特例法の一部改正に基づき、教員の研修履歴の記録を開始
	5 年 10 月 31 日	第 70 回神奈川県教育研究所連盟研究発表大会を開催
	6 年 4 月 1 日	教職 20 年経験者研修講座開始
	6 年 8 月	中学校に電子黒板が導入
	7 年 4 月 1 日	全国教員研修プラットフォーム（Plant）の横須賀市での運用を開始

7 業務分担

所 係	長	管理・運営、組織、関係機関連絡調整等
主 査 指 導 主 事	長	管理運営に関すること、連絡調整等
研修・調査研究担当主査指導主事		研究所業務全般、教育研究所連盟に関すること、人権教育に関すること、連絡調整等
研修・調査研究担当指導主事		調査研究、研修に関すること、連絡調整等
〃		調査研究、研修に関すること、理科教育に関すること等
〃		調査研究、研修に関すること等
〃		調査研究、研修に関すること等
主 任		施設管理、予算・決算及び契約・支出関係事務
〃		庶務全般、予算・決算及び契約・支出関係事務
会計年度任用職員		研修補助、よこすか教師塾等
〃		理科教育の教材教具の整備、よこすか教師塾等
〃		教育史資料収集、図書資料整備、よこすか教師塾等
〃		研修事務全般等
〃		図書資料整備、研修補助等
〃		研修補助および運営事務等
〃		施設管理等
長 期 研 究 員		教育課題に対する長期研究（市内中学校教諭）

【教育情報担当】

教育情報担当課長		管理・運営、組織、関係機関連絡調整等
ICT環境整備担当主査		教育の情報化推進のための基盤整備に関すること
ICT活用推進担当指導主事		教育の情報化推進に関すること
〃		教育の情報化推進に関すること
〃		教育の情報化推進に関すること
主 任		校務支援システム、教育用PC・校務用PC管理等
〃		校務支援システム、教育用PC・校務用PC管理等
〃		校務支援システム、対外業務、ネットワーク管理等
会計年度任用職員		教育情報化支援に関すること
〃		教育情報化支援に関すること
〃		教育の情報化推進に関すること
〃		教育情報センターネットワークサイト管理に関すること



あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり

令和7年度（2025年度）

要 覧

編集・発行 横須賀市教育研究所

〒239-0831 横須賀市久里浜 6-14-3

TEL 046-836-2443

FAX 046-836-2445

E-mail admini@kenkyu.yknet.ed.jp

URL https://b-boardofedu.yokosukacity.andteacher.jp/modules/hp_jpage12/

代表者 杉戸 美和
